

2019年3月期 第3四半期 決算ハイライト



リそなホールディングス

2019年2月12日

- 本資料における表記、計数の定義は下記の通りです。

関西みらいフィナンシャルグループ経営統合によるりそなホールディングスへの財務影響のご理解に資するよう、**[前同比]**および**[実質前同比]**での計数を記載しております。

[前同比] : 2017/12期におけるHDの連結実績との比較

[実質前同比]・HD連結 : 2017/12期におけるHD、KU、MBの各連結計数を合計したものとの比較

* («非支配株主に帰属する四半期純利益»)においてKU、KO、MB連結の非支配株主持分(48.8%)を調整)

・5行合算 : 2017/12期における5行の各単体計数の合計との比較

[HD] りそなホールディングス、**[RB]** りそな銀行、**[SR]** 埼玉りそな銀行、
[KMFG] 関西みらいフィナンシャルグループ、**[KU]** 関西アーバン銀行、**[KO]** 近畿大阪銀行、**[MB]** みなと銀行、
[3行] RB、SR、KO、**[5行]** RB、SR、KU、KO、MB

計数には社内管理計数を含みます。

本資料中の、将来に関する記述(将来情報)は、次のような要因により重要な変動を受ける可能性があります。

具体的には、本邦における株価水準の変動、政府や中央銀行の方針、法令、実務慣行および解釈に係る展開および変更、新たな企業倒産の発生、日本および海外の経済環境の変動、並びにりそなグループのコントロールの及ばない要因などです。

本資料に記載された将来情報は、将来の業績その他の動向について保証するものではなく、また実際の結果と比べて違いが生じる可能性があることにご留意下さい。

2019年3月期 第3四半期(累計)決算の概要

■ 親会社株主に帰属する四半期純利益 : 1,411億円

(うちKMFG 76億円(負のれん発生益除き))

前同比△616億円(△30.3%)、通期目標比進捗率70.5%

実質前同比△684億円(△32.6%)

- KMFG統合関連一時利益による減益要因 △316億円
(2017年12月期 : 715億円、2018年12月期 : 398億円)
- 前期計上の保証子会社再編影響の剥落要因 △141億円
- 債券及び株式等関係損益による減益要因 △277億円

■ 業務粗利益 : 4,694億円

実質前同比△215億円(△4.3%)

預貸金利益の減少をフィー収益の増加により概ね補完、
収益構造改革に一定の進展

- 国内預貸金利益: 実質前同比△83億円
貸出金平残: +2.90%、通期計画(+2.54%)を上回り推移
- フィー収益: 実質前同比+69億円、フィー収益比率30.2%
保険、住宅ローン関連が全体を牽引
- 外債を中心に債券ポートフォリオの健全化を実施

■ 経費 : △3,144億円、実質前同比+1億円

■ 与信費用 : 127億円(戻入れ)、実質前同比+13億円

HD連結(億円)	2019/3期 1-3Q	前同比		《ご参考》 実質前同比	
			増減率		増減率
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (1)	1,411	△616	△30.3%	△684	△32.6%
1株当たり四半期純利益 (EPS、円) (2)	60.94	△25.82	△29.7%		
1株当たり純資産 (BPS、円) (3)	895.57	△8.92	△0.9%		
業務粗利益 (4)	4,694	+613	+15.0%	△215	△4.3%
資金利益 (5)	3,252	+501		△147	
うち国内預貸金利益 *1 (6)	2,666	+499		△83	
フィー収益 (7)	1,419	+218		+69	
フィー収益比率 (8)	30.2%	+0.8%		+2.7%	
信託報酬 (9)	144	+7		+7	
役務取引等利益 (10)	1,275	+211		+61	
その他業務粗利益 (11)	23	△107		△136	
うち債券関係損益(先物込) (12)	△134	△128		△137	
経費(除く銀行臨時処理分) (13)	△3,144	△594	△23.3%	+1	+0.0%
経費率 (14)	66.9%	+4.5%		+2.8%	
実質業務純益 (15)	1,570	+35	+2.3%	△195	△11.0%
株式等関係損益(先物込) (16)	28	△105		△139	
与信費用 (17)	127	△5		+13	
その他の臨時・特別損益 (18)	185	+316		+345	
税金等調整前 四半期純利益 (19)	1,911	+241	+14.4%	+23	+1.2%
法人税等合計 (20)	△425	△786		△744	
非支配株主に帰属する 四半期純利益 (21)	△74	△71		+36	

*1. 国内預貸金利益: 5行合算、銀行勘定(譲渡性預金を含む)

*2. 利益にマイナスの場合は「△」を付して表示

2019年3月期 第3四半期(累計) 損益内訳

(億円)	HD連結			5行合算		連単差			
	(A)	前同比	《ご参考》 実質前同比	(B)	《ご参考》 実質前同比	りそな 銀行	埼玉 りそな 銀行	KMFG 3行 合算	(A)-(B)
業務粗利益 (1)	4,694	+613	△215	4,283	△270	2,418	834	1,029	411
資金利益 (2)	3,252	+501	△147	3,215	*a △190	1,693	668	853	36
うち国内預貸金利益 (3)				2,666	△83	1,345	565	754	
信託報酬 (4)	144	+7	+7	144	+6	144			△0
役員取引等利益 (5)	1,275	+211	+61	926	+65	575	182	167	348
その他業務粗利益 (6)	23	△107	△136	△3	△152	4	△16	9	26
うち債券関係損益(先物込) (7)	△134	△128	△137	△149	△153	△108	△34	△7	15
経費(除く銀行臨時処理分) (8)	△3,144	△594	+1	*1 △2,974	△1	△1,576	△556	*1 △840	△169
持分法による投資損益 (9)	*2 20	+17	+17						20
実質業務純益 (10)	1,570	+35	△195	1,308	△271	841	278	188	262
株式等関係損益(先物込) (11)	28	△105	△139	55	*b △637	43	△18	30	△27
与信費用 (12)	127	△5	+13	126	△19	120	9	△4	0
その他の臨時・特別損益等 (13)	185	+316	+345	△205	△65	△123	△26	△55	390
うちKMFG統合一時利益 (14)	398	+398	+398						398
税引前(税金等調整前) 四半期純利益 (15)	1,911	+241	+23	1,285	△993	882	243	159	626
法人税等合計 (16)	△425	*3 *c △786	*3 *c △744	△361	*c △18	△247	△76	△36	△64
非支配株主に帰属する 四半期純利益 (17)	△74	△71	+36						△74
(親会社株主に帰属する) 四半期純利益 (18)	1,411	△616	△684	924	△1,012	634	166	122	486

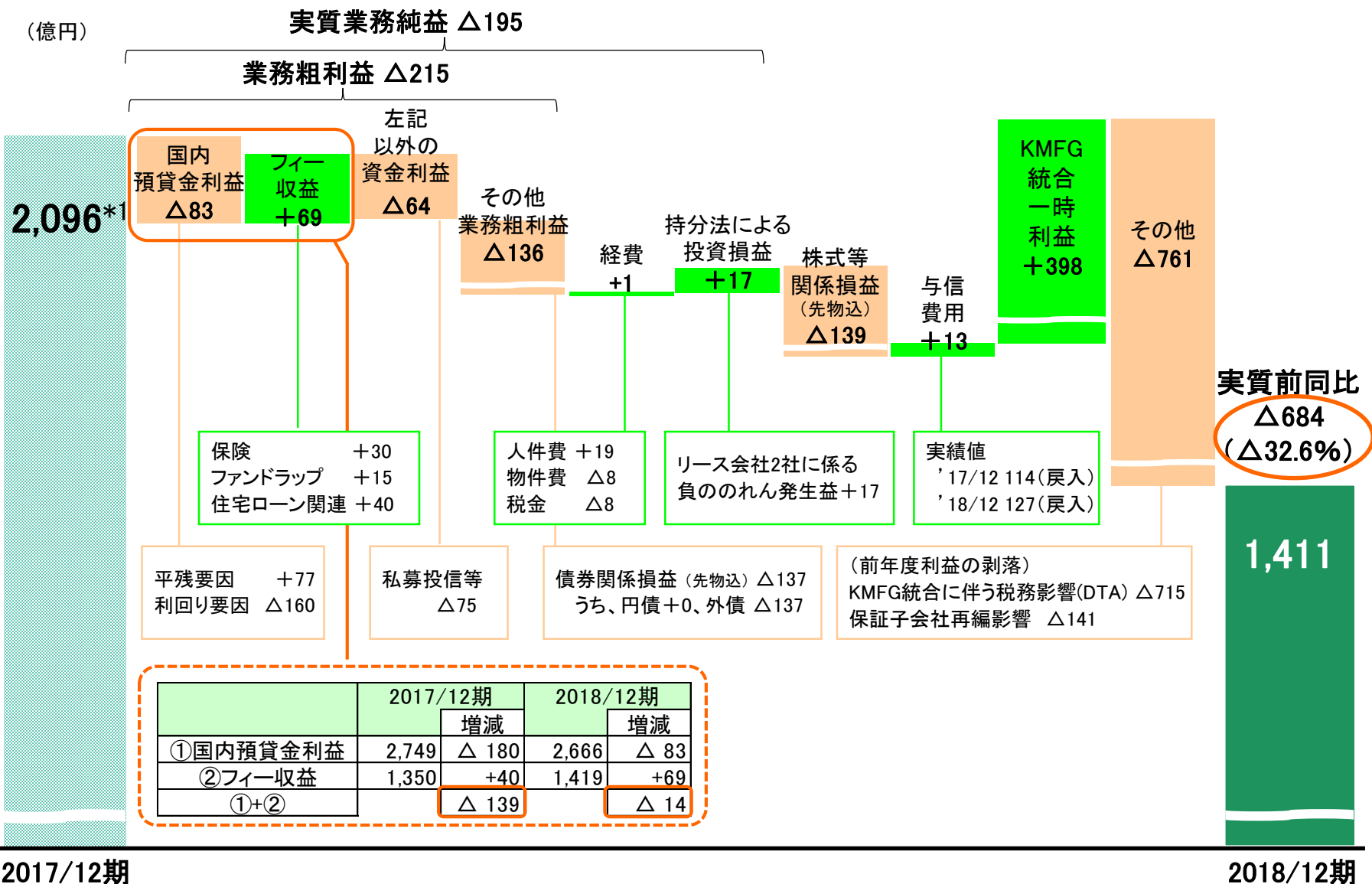
*1. KUの旧びわこ銀行のれん償却額(△5)を除く *2. 首都圏リース、ディー・エフ・エル・リースの持分法適用会社化に伴う負のれん発生益(17)を含む

*3. KMFG統合に伴う税務影響の剥落要因(△715)を含む *4. 保証子会社再編影響の剥落要因を含む【*a. 近畿大阪信用保証からKOへの配当

△49(連結消去) *b. りそな保証株式の売却益△529(RB△393、SR△135)(連結消去) *c. 税務影響△141(連結消去対象外)】

親会社株主に帰属する四半期純利益の实质前同比増減要因

HD連結



*1. 2017/12期におけるHD連結純利益(2,027)+KU、MB各連結純利益(KU114、MB60)×51.2% - KO連結純利益(43)×(100%-51.2%)

貸出金・預金の平残・利回り(国内)

銀行合算

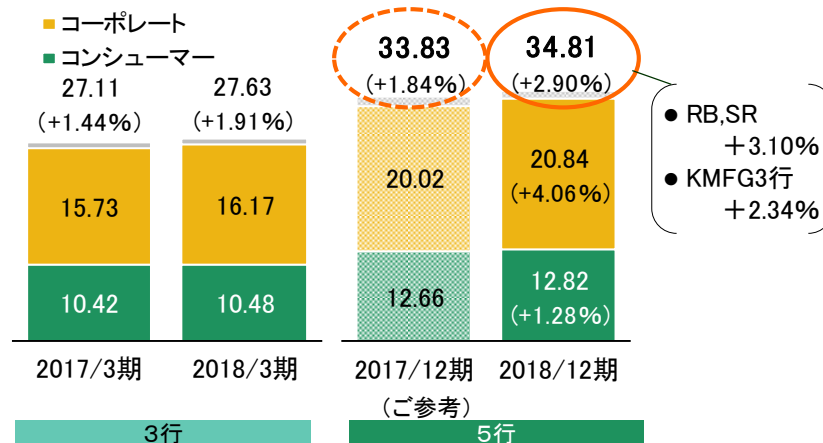
貸出金・預金の平残、利回り、利回り差

5行

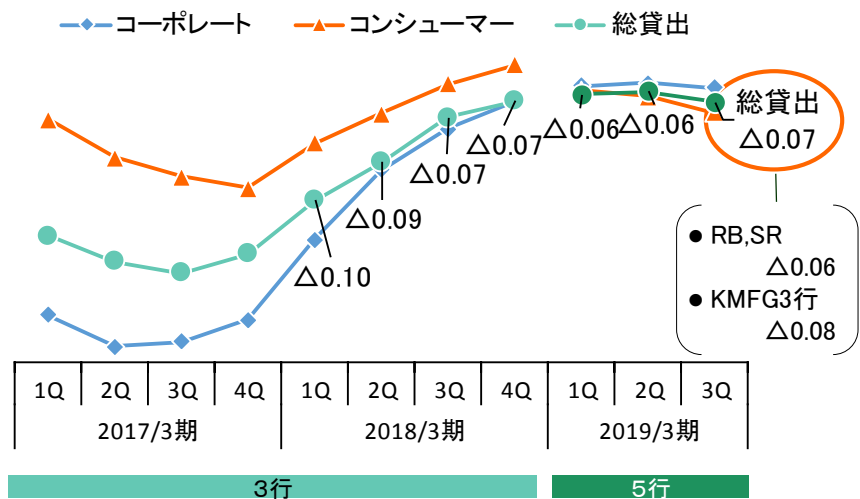
〔平残：兆円〕 〔収益・費用：億円〕		1-3Q		2019/3期	
		実績	実質 前同比	計画	前期比
貸出金	平残 (1)	34.81	+2.90%	34.79	+2.54%
	利回り (2)	1.03%	△0.06%	1.03%	△0.06%
	収益 (3)	2,726	△97	3,600	△143
コーポレート 部門(公共除) *1	平残 (4)	20.84	+4.06%	20.80	+3.38%
	利回り (5)	0.88%	△0.06%	0.87%	△0.06%
コンシューマー 部門*2	平残 (6)	12.82	+1.28%	12.83	+1.31%
	利回り (7)	1.33%	△0.06%	1.33%	△0.06%
預金+NCD	平残 (8)	50.71	+3.65%	50.86	+3.55%
	利回り (9)	0.01%	△0.00%	0.01%	△0.00%
	費用 (10)	△60	+13	△85	△9
預貸金	利回り差 (11)	1.02%	△0.06%	1.01%	△0.06%
	利益 (12)	2,666	△83	3,515	△133

貸出金平残、利回り推移

【貸出金平残(兆円)】()内は前同比増減率



【貸出金利回り 前同比(%)】



*1. コーポレート部門(公共除): 一般貸出 + アパートマンションローン

*2. コンシューマー部門: 自己居住用住宅ローン + 消費性ローン

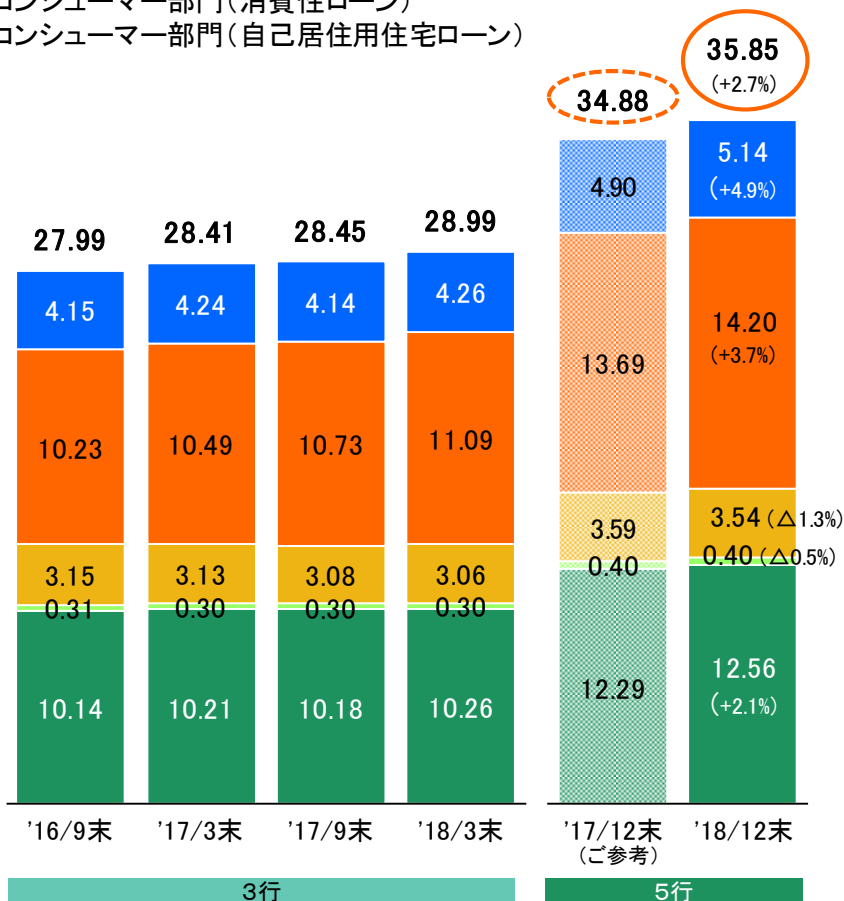
貸出金・預金末残

銀行合算

貸出金末残

〔兆円、()内は
前同比増減率〕

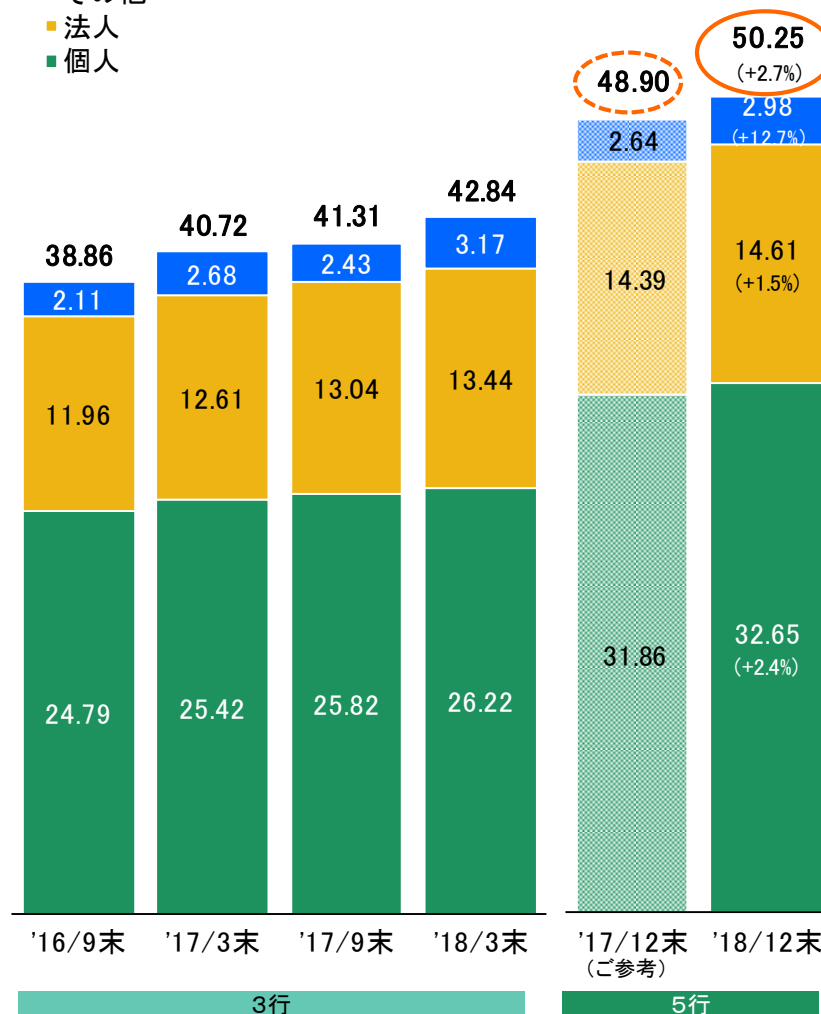
- コーポレート部門(大企業・その他)
- コーポレート部門(中小企業)
- コーポレート部門(マンションローン)
- コンシューマー部門(消費性ローン)
- コンシューマー部門(自己居住用住宅ローン)



預金末残

〔兆円、()内は
前同比増減率〕

- その他
- 法人
- 個人

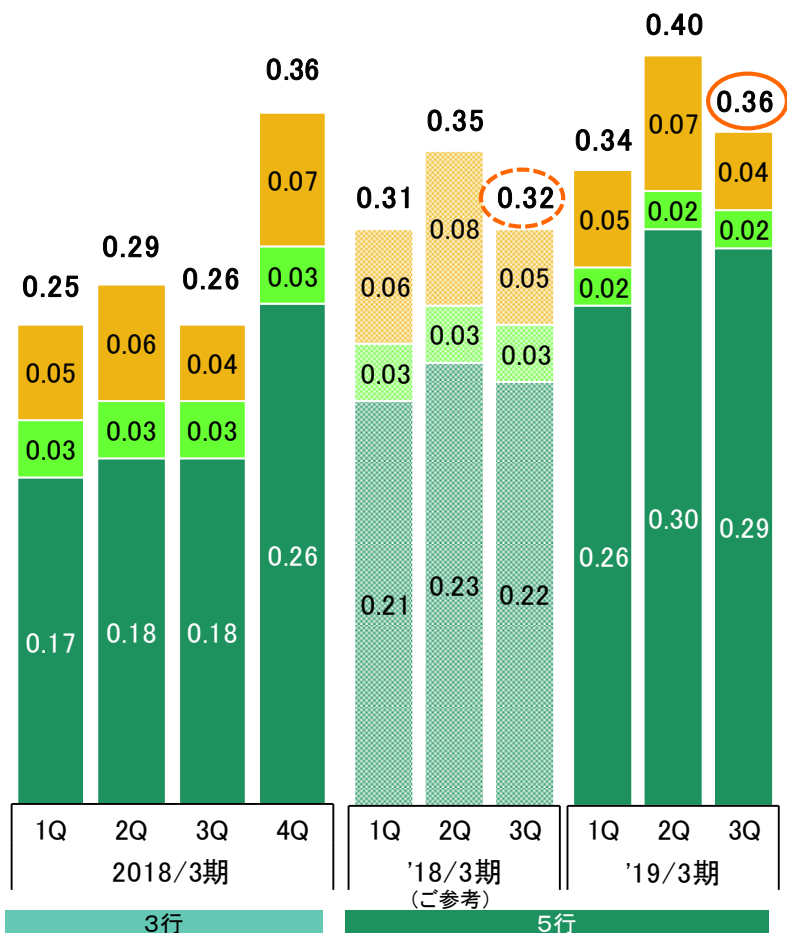


住宅ローン実行額

兆円、()内は
前同比増減率

- アパートマンションローン
- フラット35
- 自己居住用住宅ローン

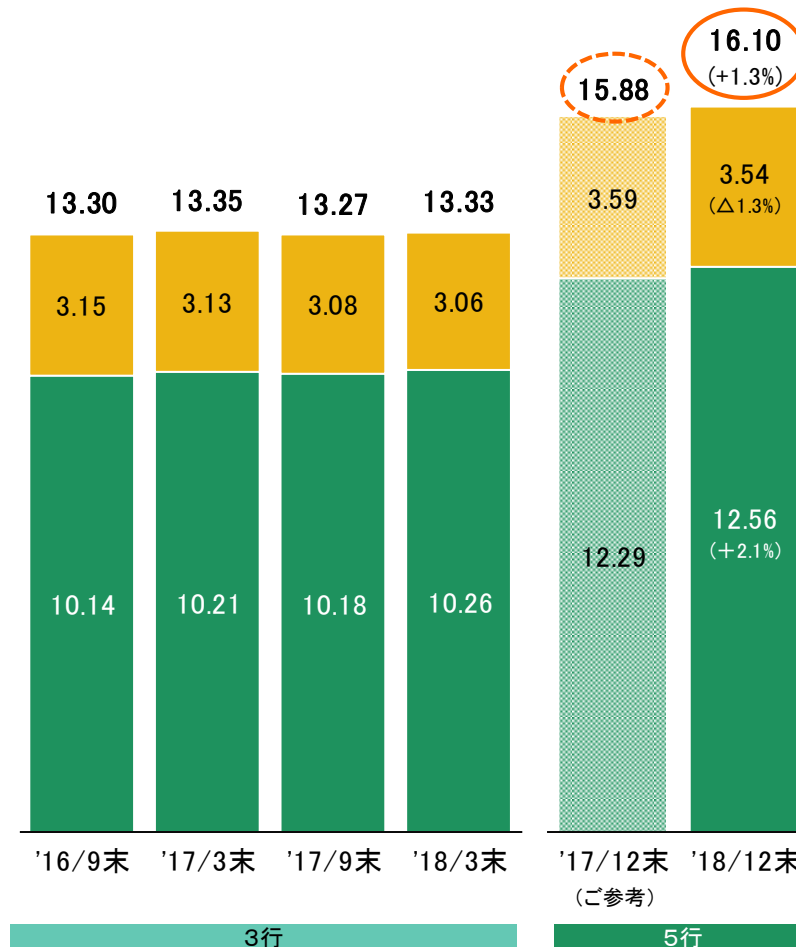
1~3Q累計 0.97 → 1.10 (+13.1%)



住宅ローン未残

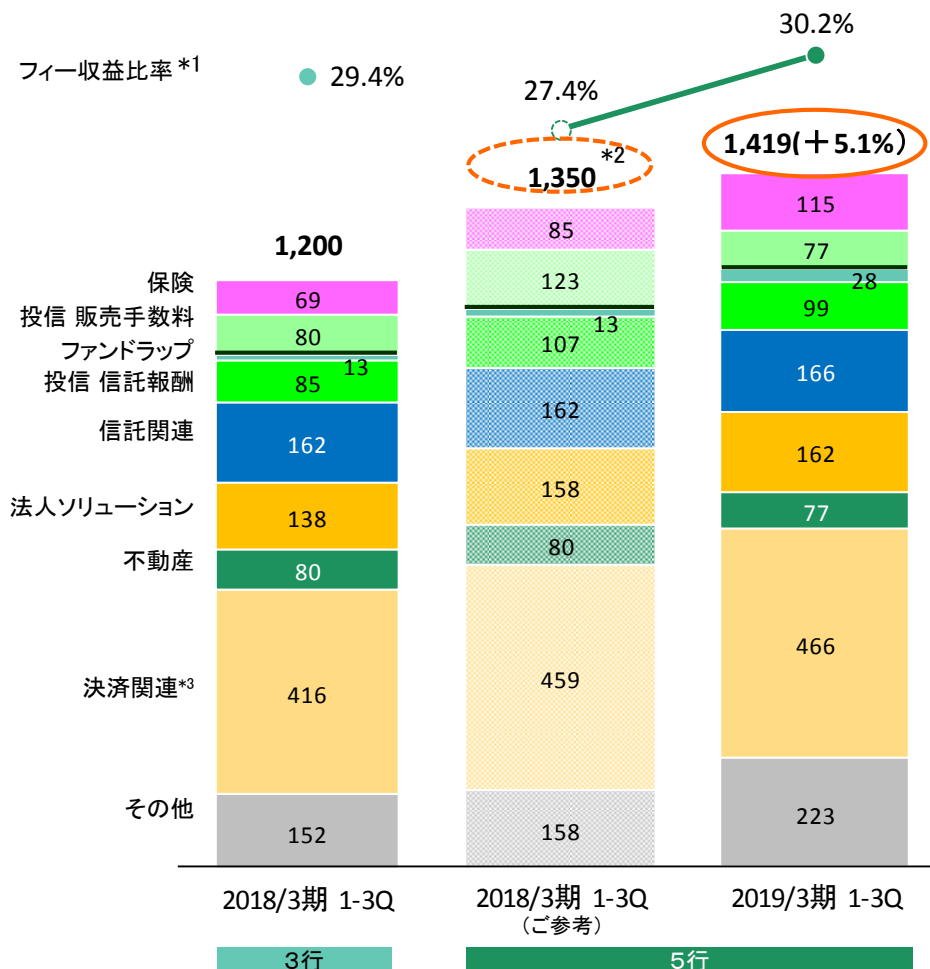
兆円、()内は
前同比増減率

- アパートマンションローン
- 自己居住用住宅ローン



(億円)

フィー収益比率 *1

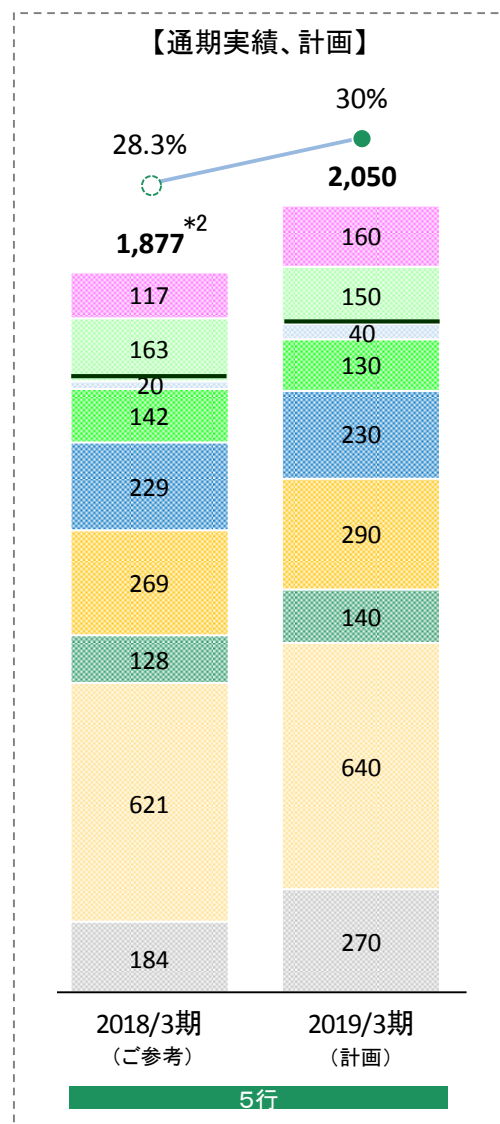


()内は前同比増減額

デビット
+ リそなカード 89 (+4)
EB 64 (+2)

住宅ローン関連 111 (+40)
一般貸出関連 54 (+32)

【通期実績、計画】



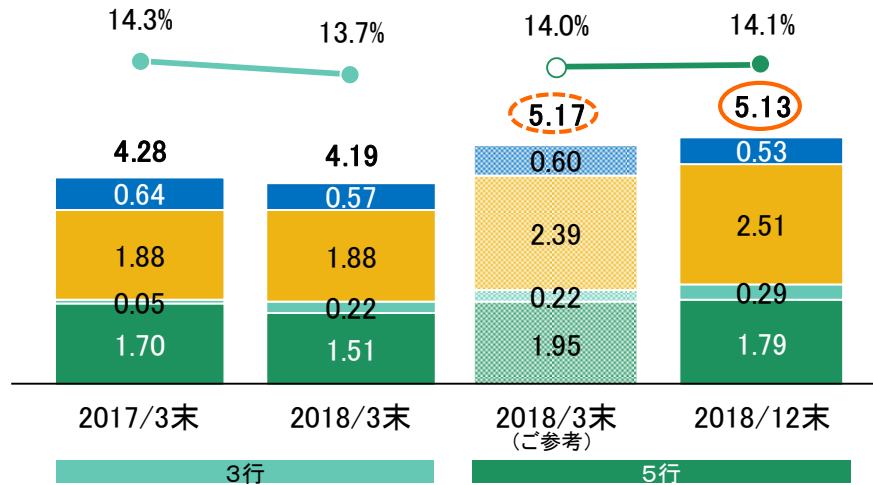
*1. (役務取引等利益+信託報酬)／業務粗利益 *2. HD、KU、MBの連結役務取引等利益と連結信託報酬を合算
*3. 内為、口振、EB、VISAデビットおよびりそな決済サービス、りそなカードの役務利益

主要なフィービジネス(1) (資産形成サポートビジネス)

HD連結

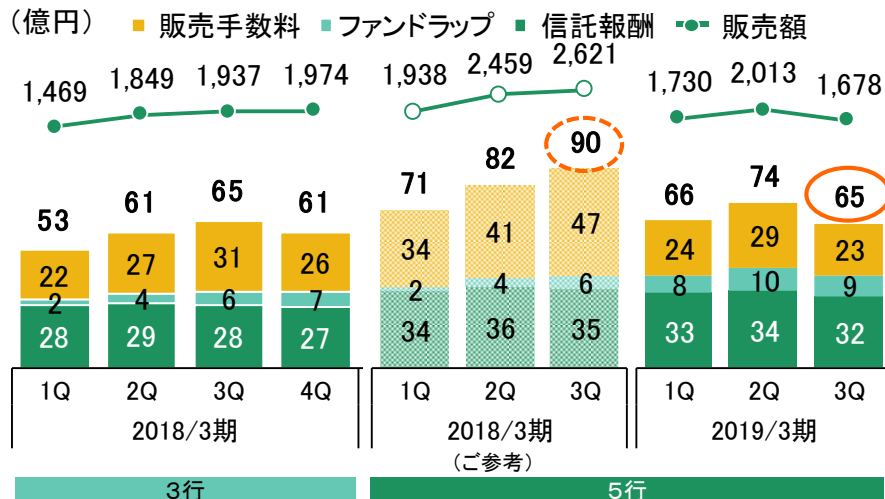
個人向け資産形成サポート商品残高

(兆円)

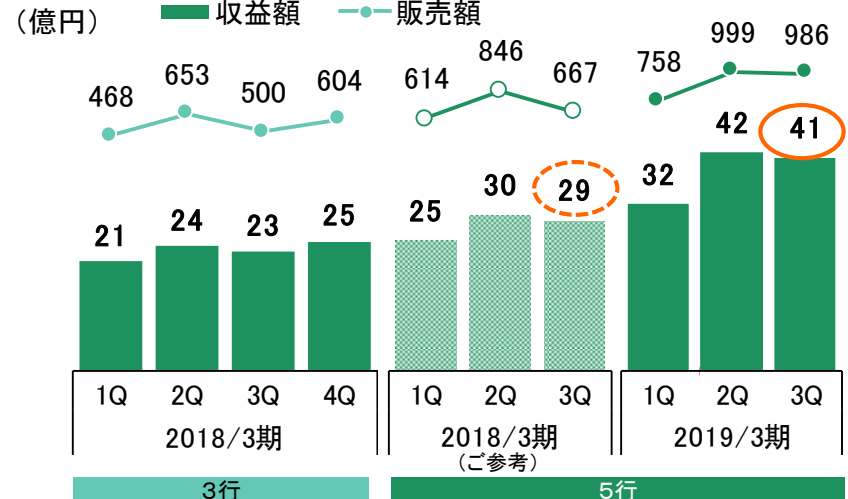


- 資産形成サポート商品比率 *1
- ファンドラップ残高 *2 : '18/12末 2,949億円 (法人込 3,299億円)
- 投資信託の純流入額 (販売-解約・償還): '18/12期 約590億円
- 投信・FW、保険利用先数: '18/12末 89万先
- うちNISA口座数: 32万口座

投資信託・ファンドラップ



保険



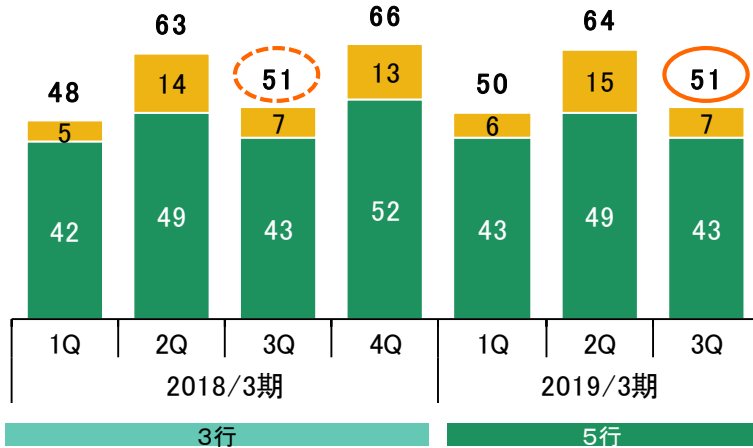
*1. 個人向け資産形成サポート商品残高 / (個人向け資産形成サポート商品残高 + 個人預金(円貨))

*2. 時価ベース残高

信託業務関連収益

(億円)

■ 承継信託 ■ 年金・証券信託



■ 承継信託

新規利用件数

'17/12期 2,903件 ⇒ '18/12期 3,199件(+10.1%)

■ 証券信託

総預り資産残高

'17/12末 45.48兆円 ⇒ '18/12末 47.14兆円(+3.6%)

■ 年金信託

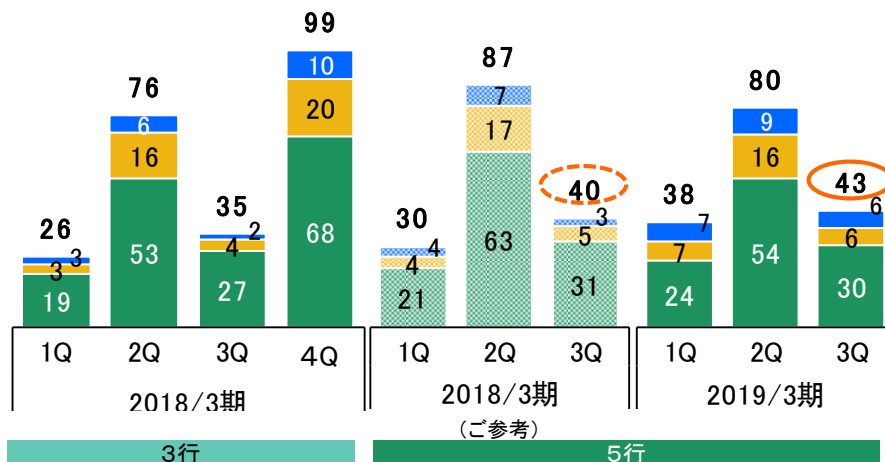
受託残高

'17/12末 4.84兆円 ⇒ '18/12末 4.65兆円(△3.7%)

法人ソリューション収益

(億円)

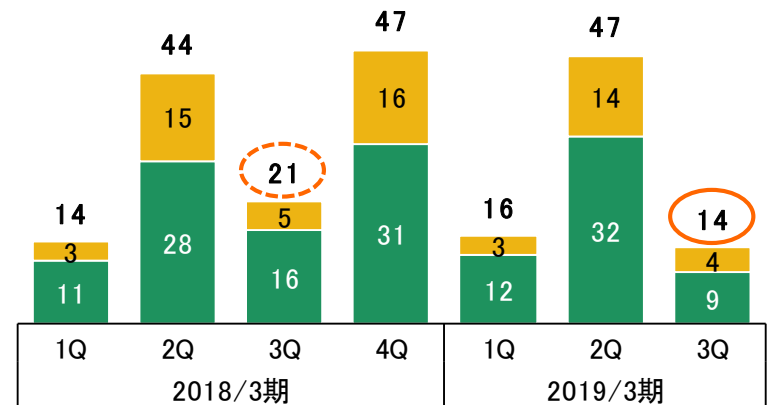
■ M&A ■ 私募債 ■ コミット/シローン/コベナンツ



不動産業務収益*1

(億円)

■ 個人 ■ 法人



*1. 不動産ファンド出資関連収益除く

与信費用

(億円)	3行		5行			
	2018/3期	2018/3期 (ご参考)		2019/3期		計画
		1-3Q (9か月)	実績	1-3Q (9か月)		
HD連結*1 (1)	147	114	101	127		△70
銀行合算 (2)	175	145	147	126		△25
一般貸倒引当金 (3)	66	73	90	136		
個別貸倒引当金等 (4)	108	71	57	△10		
新規発生 (5)	△154	△172	△222	△180		
回収・上方遷移等 (6)	262	243	279	169		
連単差 (7)	△27	△31	△46	0		△45
うち、住宅ローン保証 (8)	11	4	0	37		
うち、りそなカード (9)	△23	△19	△23	△17		
<与信費用比率> (bps)						
HD連結*1,2 (10)	5.1	4.3	2.8	4.7		△1.9
銀行合算*3 (11)	5.9	5.4	4.0	4.5		△0.6

*正の値は戻入を表す

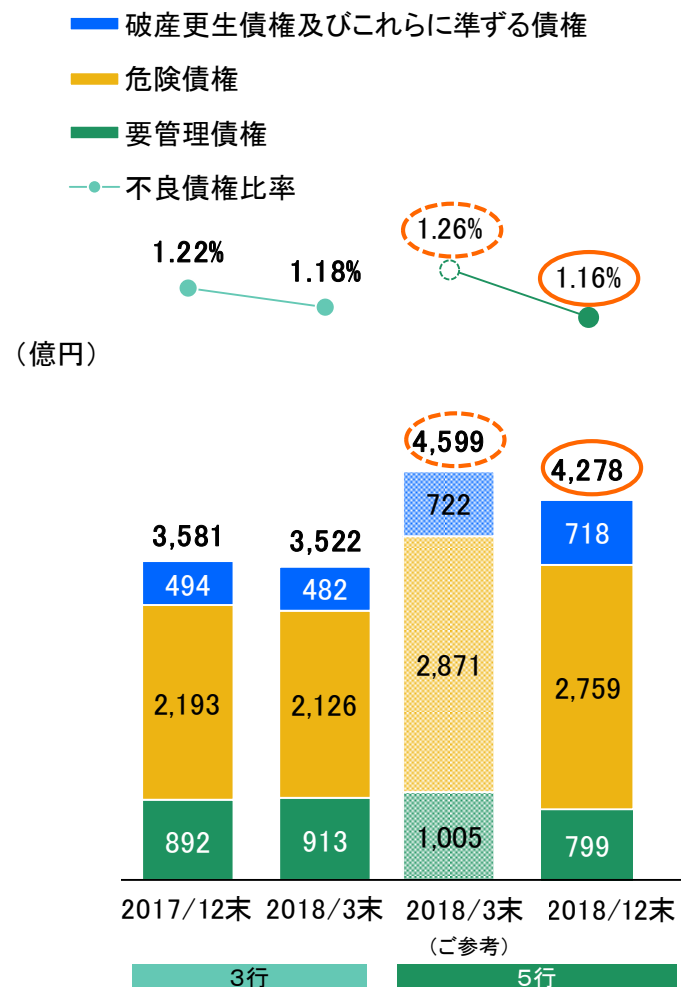
*1. 2018/3期(5行)の計数はHD、KU、MBの各連結計数の合計

*2. HD連結与信費用/(連結貸出金+連結支払承諾見返末残)(期首・期末平均)

*3. 銀行合算与信費用/金融再生法基準与信残高(期首・期末平均)

不良債権残高・比率(銀行合算)

(金融再生法基準)



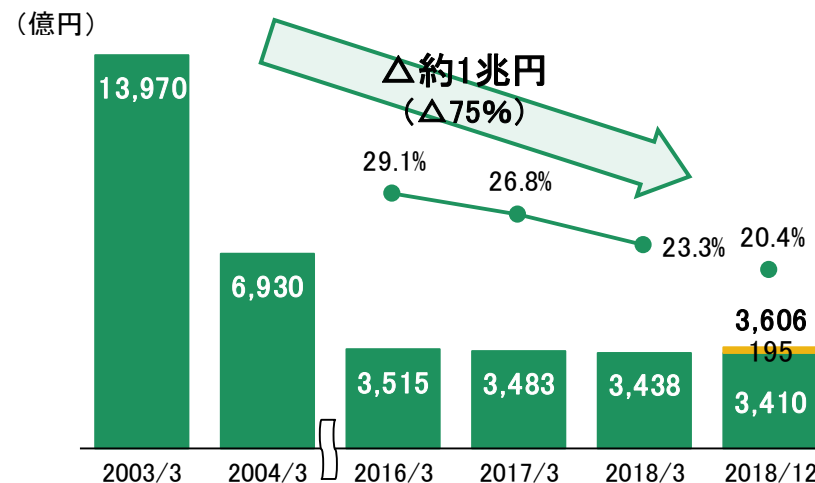
有価証券*1

(億円)	3行		5行		評価差額
	2018/3末	2018/3末 (ご参考)	2018/12末		
その他有価証券 (1)	24,012	29,181	28,499		5,766
株式 (2)	3,438	3,654	3,606		6,018
債券 (3)	12,144	15,327	12,072		53
国債 (4)	2,143	3,251	910		5
(デュレーション) (5)	8.0年	6.5年	8.6年		-
(BPV) (6)	△1.7	△2.1	△0.7		-
地方債・社債 (7)	10,001	12,075	11,161		47
その他 (8)	8,429	10,199	12,821		△ 305
外国債券 (9)	3,122	3,892	6,072		△ 11
(デュレーション) (10)	8.6年	8.4年	7.5年		-
(BPV) (11)	△2.5	△3.1	△2.9		-
国内投資信託 (12)	5,129	6,080	6,527		△316
(評価差額) (13)	6,494	6,728	5,766		
満期保有債券 (14)	20,467	20,571	22,047		453
国債 (15)	15,655	15,655	16,059		339
(評価差額) (16)	519	520	453		

政策保有株式

- 損益分岐点株価(日経平均ベース): 7,500円程度
- 2018/12期 削減額(上場分・取得原価): 48億円
売却益(同): 64億円
- 政策保有株式に関する方針の概要
 - 公的資金による資本増強以降、残高圧縮に取り組み、価格変動リスクを低減
 - 引き続き、保有の是非は中長期的な取引展望の実現可能性を含むリスク・リターンの検証により判断し、中期的に普通株式等Tier1*2比「10%台」に削減方針
 - 2017/3期からの5年間で350億円程度の削減を計画

■ 政策保有株残高(KU,MB) ■ 政策保有株残高(3行) ● CET1(OCI除き)比



*1. 取得原価、時価のある有価証券 *2. OCI除き

■ 2018/12末の自己資本比率(国内基準)は10.23%、普通株式等Tier1比率※(国際統一基準)は9.22%と十分な水準を維持
※その他有価証券評価差額金除き

国内基準

(億円)	2018/3	2018/12	増減
自己資本比率 (1)	10.65%	10.23%	△0.42%
自己資本の額 (2)	16,260	19,519	+ 3,258
コア資本に係る基礎項目の額 (3)	16,899	20,004	+ 3,104
うち普通株式に係る株主資本の額 (4)	15,440	16,267	+ 826
うち調整後非支配株主持分の額 (5)	146	2,401	+ 2,255
うち劣後債等 (経過措置による算入) (6)	1,309	1,071	△238
コア資本に係る調整項目の額 (7)	638	485	△153
リスク・アセット等 (8)	152,621	190,649	+ 38,027

■ 自己資本の額の増減要因

- 株主資本の額 +826億円
 - 親会社株主に帰属する四半期純利益 +1,441億円
 - 中間配当 △243億円
 - 連結範囲の変動(KO連結の持分比率変動) △357億円
- 非支配株主持分 +2,255億円

■ リスク・アセット等の増減要因

- KU・MB統合影響(4月1日統合時点) +45,390億円
- 貸出金の残高増加 +1,568億円
- パラメータ低下等 △6,418億円

(参考)国際統一基準

(億円)	2018/3	2018/12	増減
その他有価証券評価差額金除き (9)	9.50%	9.22%	△0.28%
普通株式等Tier1比率 (10)	12.58%	11.34%	△1.24%
Tier1比率 (11)	12.60%	11.42%	△1.18%
総自己資本比率 (12)	13.56%	12.15%	△1.41%
普通株式等Tier1資本の額 (13)	19,907	22,133	+ 2,226
基礎項目 (14)	20,652	22,913	+ 2,261
うち普通株式に係る株主資本の額 (15)	15,440	16,267	+ 826
うちその他有価証券評価差額金 (16)	4,866	4,125	△740
うち調整後非支配株主持分の額 (17)	33	2,168	+ 2,135
調整項目の額 (18)	744	779	+ 34
その他Tier1資本の額 (19)	27	167	+ 140
Tier1資本の額 (20)	19,935	22,301	+ 2,366
Tier2資本の額 (21)	1,529	1,419	△109
総自己資本の額(Tier1+Tier2) (22)	21,464	23,721	+ 2,256
リスク・アセット等 (23)	158,180	195,135	+ 36,955

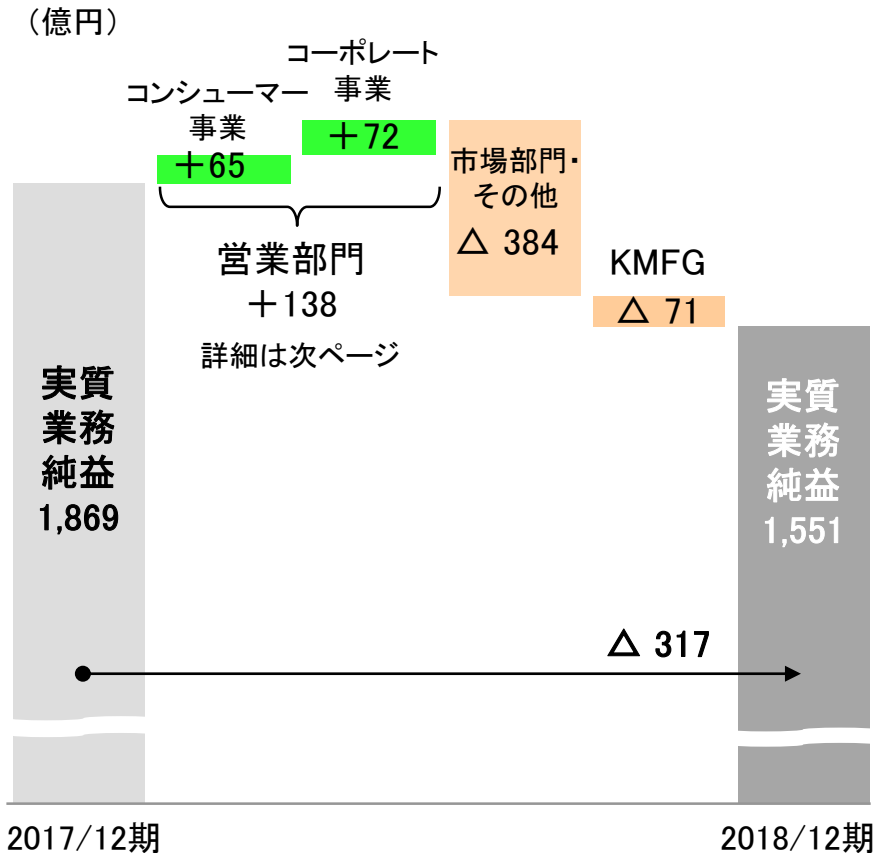
■ (参考)グループ銀行、銀行持株会社

国内基準 (億円)	りそな (連結)	埼玉りそな (単体)	KMFG (連結)
自己資本比率 (24)	10.56%	12.64%	7.15%
自己資本の額 (25)	10,958	3,415	4,793
リスク・アセット等 (26)	103,706	27,015	67,005

(ご参考)事業部門別の損益概要

HD連結

(億円)		2018/12期	実質前同比
営業部門	業務粗利益 (1)	3,475	+165
	経費 (2)	△2,230	△23
	実質業務純益 (3)	1,246	+138
コンシューマー事業	業務粗利益 (4)	1,569	+81
	経費 (5)	△1,158	△15
	実質業務純益 (6)	411	+65
コーポレート事業	業務粗利益 (7)	1,906	+83
	経費 (8)	△1,071	△7
	実質業務純益 (9)	835	+72
市場部門・その他	業務粗利益 (10)	71	△427
	経費 (11)	△40	+21
	実質業務純益 (12)	50	△384
KMFG	業務粗利益 (13)	1,128	△74
	経費 (14)	△873	+3
	実質業務純益 (15)	254	△71
合計	業務粗利益 (16)	4,675	△337
	経費 (17)	△3,144	+1
	実質業務純益 (18)	1,551	△317



管理会計における 計数の定義

1. 「営業部門」、「市場部門・その他」はKMFG連結子会社を除くHD連結子会社の計数
2. 「市場部門」の業務粗利益には株式等関係損益の一部を、「その他」には経営管理部門の計数等を含む
3. KMFGの実質前同比は、2017/12期におけるKU、KO、MBの各社連結業績の合計値との比較

(ご参考) 営業部門の損益概要

HD連結 (KMFG連結除)

コンシューマー部門

コーポレート部門

- 実質業務純益は前同比65億円の増益

- 実質業務純益は前同比72億円の増益

(億円)

(億円)

